

学校安全・防災だより

令和7年8月6日（水）

保健体育安全課発行【第5号】



津波警報が出た際の保護者引き渡しについて

7月30日（水）の午前8時25分頃にカムチャツカ半島で発生したマグニチュード8.7や8.8を観測した地震により、気象庁から午前9時40分に津波警報が発表されました。

学区が津波浸水区域に入っている学校においては、各校で作成されている防災マニュアルに基づき、児童生徒を留めおく対応を取っていただきました。

東日本大震災の記憶のない児童生徒が誤った行動を取らないよう、今一度引き渡しの際の判断基準及びルールをご確認いただき、近隣の学校や教育委員会と共通認識を図っていただきたいと思います。

<学区が津波浸水区域にある学校の津波に関する引き渡しの判断基準（例）>

判断する状況	在校時の引き渡しのルール	登下校時や在宅時
大津波警報・津波警報	○保護者への引き渡しは行わず、避難（学校待機）とする。 ※保護者が引き渡しを求めて来校した場合も、危険性を丁寧に説明し、待機等を勧める。 ※警報が解除され、安全が確保された後に引き渡しを行う。	○警報が発表された場合は、津波に対応した避難場所に避難する。 ○警報・注意報が解除されても、学校区及び通学路に浸水等の被害がないことを確認した上で登校の連絡をする。それまでは高台にある避難場所での待機とする。
津波注意報	○津波の到達予想時刻等を十分考慮して、引き渡しの判断を行う	

なぜ必要なのか

東日本大震災における「学校現場の教職員の声等」から、

今一度子供たちや保護者の命を守る引き渡し方法の確認を！

「みやぎ学校安全基本指針」（平成24年10月宮城県教育委員会）より

【学校現場の教職員の声等】

- ◆保護者（祖母）に地震後引き渡し、祖母の家に帰宅後津波で祖母と児童が亡くなった。
- ◆保護者に引き渡し後、保護者と一緒に別の場所に移動中津波に巻き込まれ保護者と児童が亡くなった。
- ◆高台に避難した児童の祖父が迎えに来た。その後、車で帰って行ったところ津波に遭遇し、祖父と児童が亡くなった。
- ◆マニュアルでは、校庭への避難後に保護者へ引き渡すことになっていた。引き渡したことで児童が犠牲になった。
- ◆引き渡すべきかの判断基準を設定しておらず、後から思うと引き渡すべきではなかった。
- ◆迎えに来た保護者に、随時引き渡していたことは反省点である。
- ◎安全が確認できるまで児童を保護者に引き渡さなかったため、児童の被害をなくすことができた。
- ◎安全が確認されるまで、保護者も児童とともに待機してもらい事なきを得た。

沿岸部に立地しているある県立高校では、学校防災マニュアルの判断基準に基づき、津波警報及び自治体からの避難指示が解除されるまで、生徒を留め置きました。

素晴らしいのは、保護者の理解を得るための丁寧な対応と、自治体や保護者を含めた地域住民の高い防災意識があったため、クレームは一切なかったとのことでした。津波警報が解除されたのは午後8時45分。自治体の避難指示縮小を受けて、保護者に生徒全員引き渡しを完了させました。まさに「空振りはおKだが、見逃しはNG」を貫いた素晴らしい対応だったと思います。

第4回みやぎ災害伝承ポスター コンクール締切迫る！！

東日本大震災から14年が経過し、特に児童生徒が震災を知らない世代となっています。このため、東日本大震災をはじめとする過去の災害の記憶と教訓に触れ、自分事として捉えられる機会を創出することで、次なる災害が起きた際に、命を守る行動に生かせるよう、「みやぎ災害伝承ポスターコンクール」を今年度も開催しますので、奮ってご応募ください。

<応募締切> 令和7年9月12日(金)必着

【応募・問合せ先】

復興支援・伝承課震災伝承班
TEL: 022-211-2443

※ 受賞作品は、県内伝承施設等に配布する災害伝承の啓発ポスターなどに使用するほか、県内施設やみやぎ東日本大震災津波伝承館等で展示するなど、災害伝承の広報・啓発に幅広く活用されます。

【第4回みやぎ災害伝承ポスターコンクール詳細（復興支援・伝承課 WEB）】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/saigaidensho-poster.html>



クマ出没警報発令中！

— 7月29日(火)から8月31日(日)まで —

県に寄せられた令和7年7月のツキノワグマ目撃等件数が、過去5年の平均と比べ、大きく増加し、クマによる人身被害のリスクが高まっていることから、クマ出没警報が発令されています。

これからの時期は山でのキャンプやトレッキング、河川敷でのバーベキューなど、レジャーを楽しめる時期であるとともに、クマの行動範囲に近づきやすい時期でもあります。

加えて、林野庁東北森林管理局の「ブナ開花・結実調査」によりますと、ブナの結実が「大凶作」と予測されており、食べ物を求めてさらに行動範囲が広がり、8月以降もクマの出没が多くなることが見込まれます。

《クマと遭遇しないために》

- ☑ 事前に新聞・ラジオ等のマスコミ情報や地元市町村等からクマの目撃等情報を入手し、危険なところには近づかない。
- ☑ クマ鈴やラジオを携帯して音を鳴らしたり、大声でしゃべったりしながら歩く。

【ツキノワグマの被害に遭わないために（宮城県 WEB）】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/kumatyuui.html>

